

整理番号 1.06EU
 作成 2015/4/13
 改定 2022/3/14

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ビードリークシーラーEU
 (Safety Seal Bead Leak Sealer EU)
 製品コード -
 供給者の会社名称 株式会社プリーマタイヤサプライズ
 住所 東京都新宿区新宿1-25-14第2関根ビル2F
 電話番号 03-3358-6908 FAX03-3358-6954
 推奨用途 チュープレスタイヤとホイール部分の気密性補修剤

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分2
 健康有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
 発がん性 区分2
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用、気道刺激性)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(神経系)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)
 環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分1
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1
 上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか、分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
 危険有害性情報 引火性の高い液体及び蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 眠気又はめまいのおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き
 安全対策 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

<p>容器を密閉しておくこと。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 取扱い後はよく眼を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 換気が不十分な場合、呼吸器保護具を着用すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察・手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察・手当てを受けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察・手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診察・手当てを受けること。 火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。 漏出物は回収すること。</p>	<p>保管</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。</p>	<p>廃棄</p> <p>内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。</p>
<p>緊急措置</p>		

3. 組成及び成分情報
 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
ヘプタン	≥85%	CH ₃ (CH ₂) 5CH ₃	(2)-7	既存	142-82-5
カーボンブラック	≤5%	-	-	-	1333-86-4

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)	カーボンブラック(政令番号:130)(10%未満)
		ヘプタン(政令番号:526)(80%~90%)

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察・手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐか、汚れを取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察・手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察・手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診察・手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察・手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察・手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診察・手当てを受けること。

急性及び遅発性の最も重要な徴候及び症状

めまい。皮膚・眼への刺激性。

経口摂取により悪心・嘔吐・食道への刺激性。

医師に対する特別な注意事項

対症的な治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

使ってはならない消火剤

棒状水。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

極めて燃えやすい。

蒸気は、火花、高温または残り火によって点火される可能性がある。

蒸気は空気より重く、床に沿って移動したり容器の底に蓄積する可能性がある。

特有の消火方法	火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置	作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物は回収すること。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。 漏出物の上をむやみに歩かない。 火花の発生しない安全な工具を使用する。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時 措置	
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策 安全取扱注意事項 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。 熱、火花、裸火、高温のものなどの着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること。アースをとること。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。 火花を発生させない工具を用いること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 取扱い後はよく眼を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 火気厳禁。

保管	接触回避 衛生対策 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板やその他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつはりを不燃材料で作ること。 保管場所の床は、床面に水が浸入、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ適当なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
	安全な容器・包装材料	火気厳禁。 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2020年版)	ACGIH (2020年版)
ヘプタン	未設定	200ppm(820mg/m ³)	TWA 400 ppm, STEL 500 ppm
カーボンブラック	炭素の粉じん 3.0mg/m ³	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 3 mg/m ³ (I), STEL -

設備対策		蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	密閉する設備又は局所排気装置を設置する。 換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 不浸透性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
色	形状	液体 黒色

臭い	ケロシン臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	94°C
可燃性	適用されない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
	データなし
引火点	-4°C
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	非水溶性
n-オクタノール／水分分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.7 - 0.8
相対ガス密度	>1 (空気=1)
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品に関連する危険な反応性はない。
化学的安定性	通常の温度下で、推奨される使用においては安定である。
危険有害反応可能性	非常に燃えやすい。 蒸気は空気より重く、床に沿って移動したり容器の底に蓄積する可能性がある。 蒸気は、火花、高温または残り火によって点火される可能性がある。
避けるべき条件	高温、加熱、火花、裸火、静電気火花。
混触危険物質	硝酸塩、強酸化性物質、強アルカリ、強酸。
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分に該当しない: ヘプタン(出典: NITE)、カーボンブラック(出典: NITE) 毒性未知成分があり、データ不足のため分類できない。
	経皮	区分に該当しない: ヘプタン(出典: NITE) 毒性未知成分があり、データ不足のため分類できない。
	吸入	(急性毒性(吸入: 気体)) 製品の形状がGHSの定義における液体のため、区分に該当しない。 (急性毒性(吸入: 蒸気)) 区分に該当しない: ヘプタン(出典: NITE)、カーボンブラック(出典: NITE) 毒性未知成分があり、データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)) データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性	区分2:ヘプタン(出典:NITE) 区分に該当しない:カーボンブラック(出典:NITE) 区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当する。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2:ヘプタン(出典:NITE) 区分に該当しない:カーボンブラック(出典:NITE) 眼区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当する。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	区分2:カーボンブラック(出典:NITE) カーボンブラック \geq 1%のため、区分2に該当する。
生殖毒性	(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3:ヘプタン(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE) 区分3(麻酔作用)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。 区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1:ヘプタン(臓器=神経系 出典:NITE), カーボンブラック(臓器=呼吸器 出典:NITE) ヘプタン \geq 10%のため、区分1(神経系)に該当する。 カーボンブラック \geq 1%のため、区分2(呼吸器)に該当する。
誤えん有害性	区分1:ヘプタン(含有率=86% 出典:NITE) 動粘性率が不明のため、分類できない。
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1:ヘプタン(出典:NITE) 区分に該当しない:カーボンブラック(出典:NITE) 区分1 \times 毒性乗率が濃度限界(25%)以上のため、区分1に該当する。
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1:ヘプタン(出典:NITE) 区分1 \times 毒性乗率が濃度限界(25%)以上のため、区分1に該当する。
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory Information by Sea
UN No. 1133
Proper Shipping Name ADHESIVES
Class 3
Packing Group II
Marine Pollutant Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code Not applicable

Regulatory Information by Air
UN No. 1133
Proper Shipping Name ADHESIVES
Class 3
Packing Group II
陸上規制 消防法の規定に従う。
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
国連番号 1133
品名 接着剤
国連分類 3
容器等級 II
海洋汚染物質 該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当

国内規制

航空規制情報 航空法の規定に従う。
国連番号 1133
品名 接着剤
国連分類 3
等級 II

特別の安全対策

移送時にイエローカードを携行する。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号

重量物を上積みしない。
128

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当
労働安全衛生法(通知対象物質) 該当
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物) 非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 非該当

適用される主たる国内法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(ヘプタン、カーボンブラック)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(ヘプタン、カーボンブラック)

消防法

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
第四類引火性液体、第一石油類非水溶性液体(法第2条第7項別表第1第4類の項第2号備考第12号)

船舶安全法
航空法

引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)(廃油)

労働基準法

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)(カーボンブラック)

16. その他の情報

連絡先
参考文献

株式会社プリーマタイヤサプライズ
NITE GHS分類公表データ

免責事項

原料メーカーSDS(2021/10/13)改訂版
記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。